

## 5-1 東海地域とその周辺地域の地震活動（2003年5月～2003年10月） Seismic activity in and around the Tokai area (May, 2003 - October, 2003)

気象庁・地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, JMA

2003年5月～2003年10月の東海地域とその周辺地域の月別震央分布を第1図に、主な地震の発震機構解（下半球等積投影）を第2図に示す。主な地震の発震機構解の震源マークの内、地殻内の地震を黒塗りとし、沈み込んだフィリピン海プレート内の地震を白抜きとした。ただし、選別する範囲は北緯 34.5° ～35.5° ，東経 136.0° ～138.5° である。

### 東海地域

【静岡県周辺】7月に神奈川県西部でM4クラスの地震が発生した他は、M3クラスの地震活動も低調だった。

【浜名湖付近】東側領域で地震活動の低下した状態が継続している。

【愛知県西部・東部】7月に愛知県西部でM4.1の地震が発生した他は目立った活動はなかった。

【伊豆】伊豆半島東方沖で6月に小規模な地震活動があった。伊豆大島近海で10月28日にM4.4の地震が発生した。新島・神津島近海で9月下旬から10月にかけてM3クラスの活動があり、期間外の11月18日にM4.4の地震が発生した。（本巻「関東・中部地方とその周辺の地震活動」の項参照）

### 周辺地域

【南関東】千葉県南東部の深さ70kmで9月20日にM5.8の地震が発生した。

### 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動（第3図， $1.1 \leq M$ ，クラスターを除く）

【矩形全体（W+E）の領域】2000年初め頃から活動が低下している。

【西側領域（W）】2001年2月のM5.0の地震の前に地震活動が低下し、地震後回復した。2002年頃からもやや地震が少なかったが、2003年に入ってから、静岡・愛知県県境付近で定常クラスタではない活動がやや活発だった。

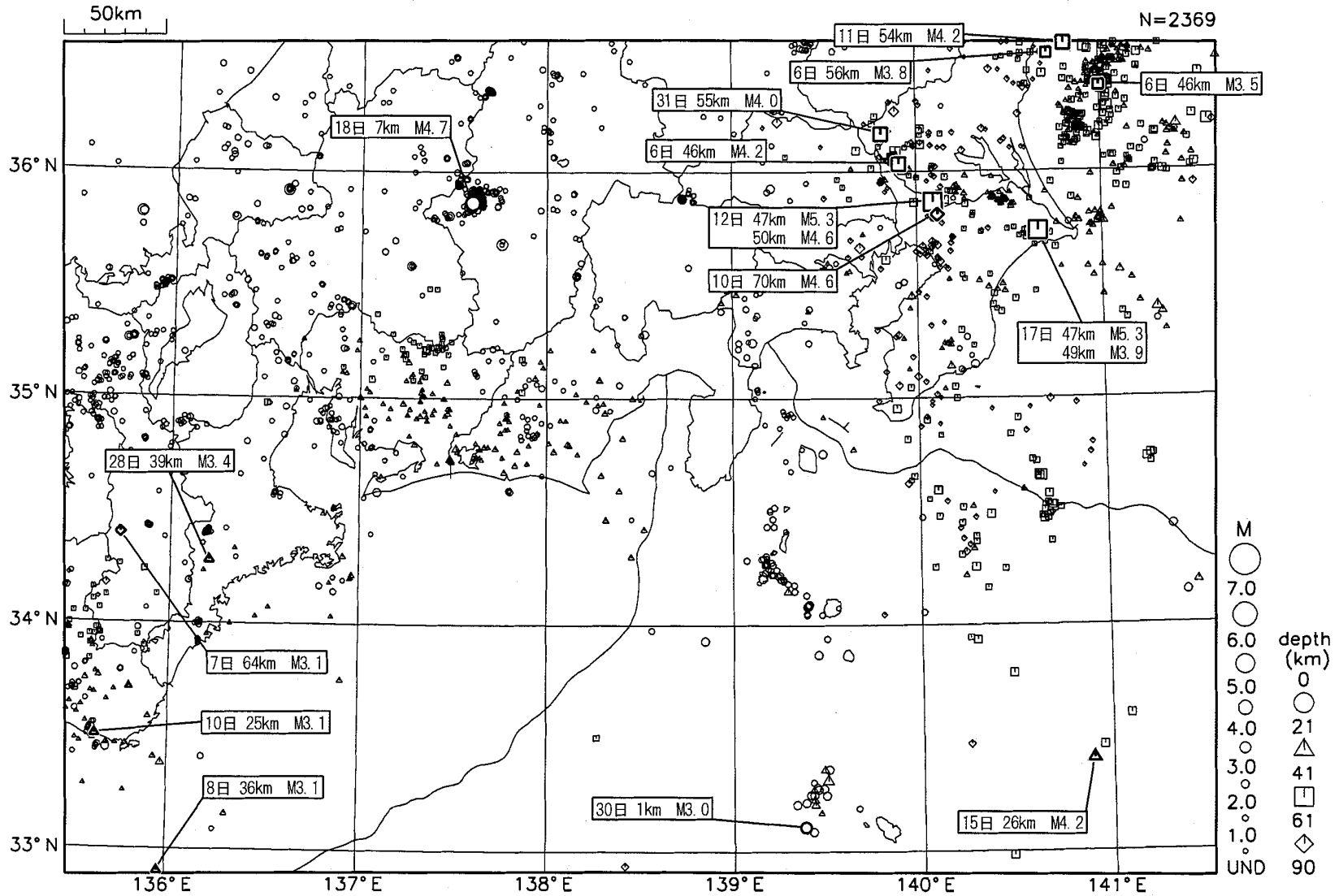
【東側領域（E）】2000年後半から活動レベルの低下が続く中、6月5日にM3.9の地震が発生するなど一旦回復傾向が見られたが、その後も低下傾向は継続している。

以下に、静岡県周辺、愛知県周辺及びその他の地域で月毎の最大の地震（ $M \geq 3.0$ ）を示した。

月	静岡県周辺	愛知県周辺	その他
5			5/12 茨城県南部 M5.3 5/17 千葉県北東部 M5.3
6	6/5 静岡県西部 M3.9 6/17 静岡県中部 M3.0		6/6 千葉県東方沖 M4.8

7	7/11 神奈川県西部 M4.1 7/12 神奈川県西部 M4.1	7/ 9 愛知県西部 M4.1	7/17 茨城県沖 M4.2
8			8/4 茨城県北部 M4.9
9	9/28 山梨県中西部 M3.5		9/20 千葉県南部 M5.8
10	10/28 伊豆大島近海 M4.4		10/15 千葉県北西部 M5.1

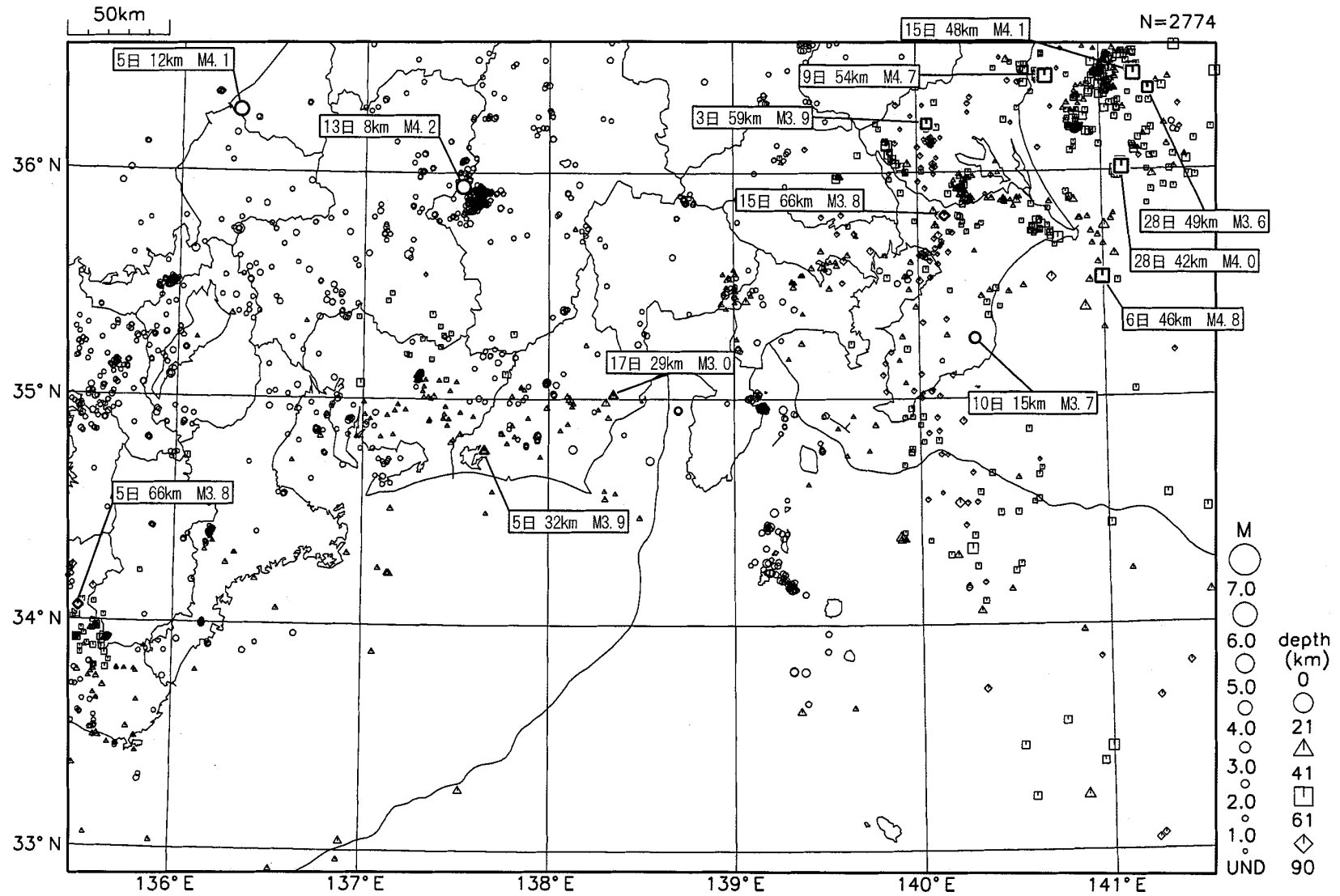
東海・南関東地域の地震活動 2003年5月



第1図(1) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (2003年5月)

Fig.1(1) Monthly plot of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (May, 2003).

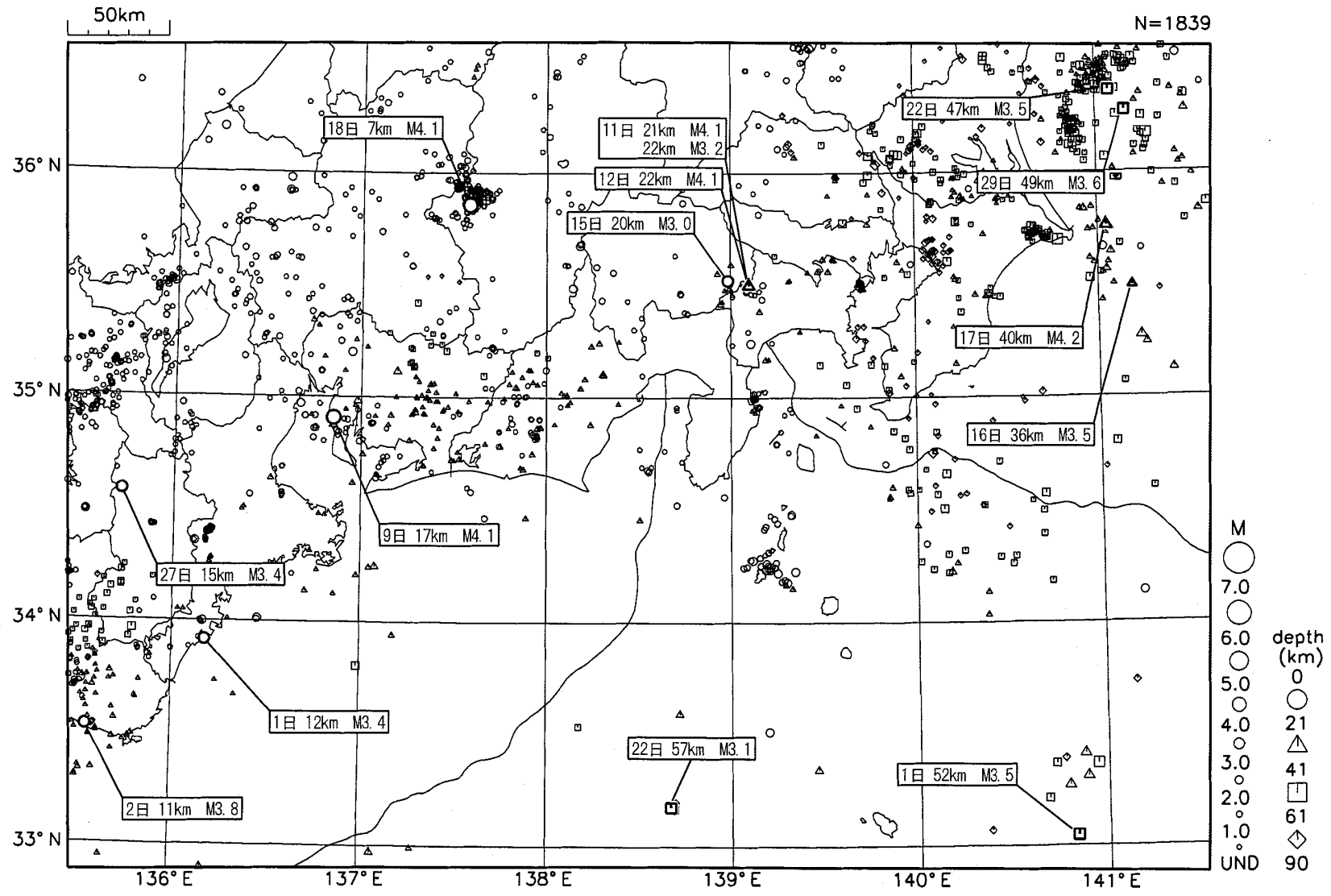
東海・南関東地域の地震活動 2003年6月



第1図-(2) つづき (2003年6月)

Fig.1-(2) continued (June, 2003).

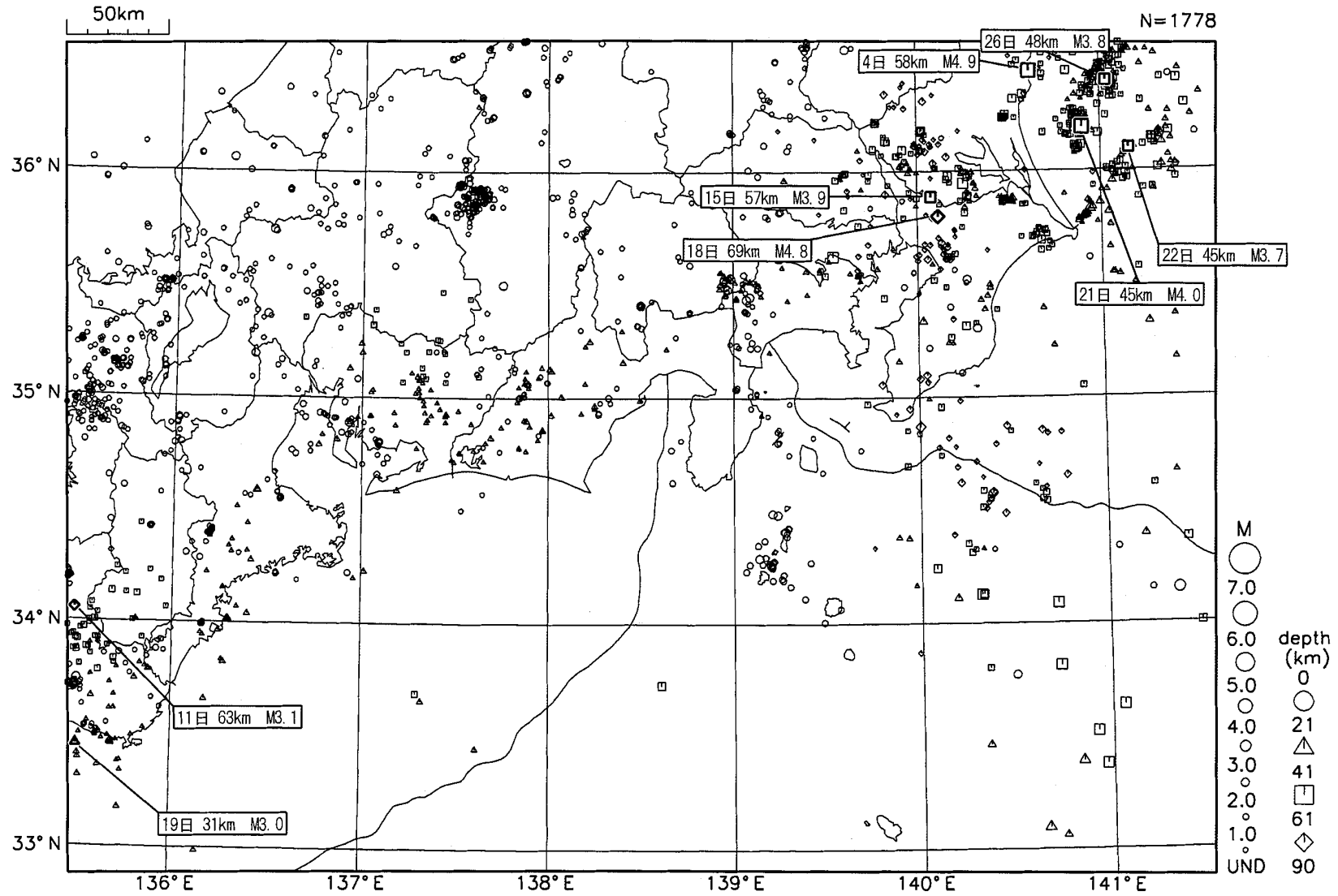
東海・南関東地域の地震活動 2003年7月



第1図-(3) つづき (2003年7月)

Fig.1-(3) continued (July, 2003)

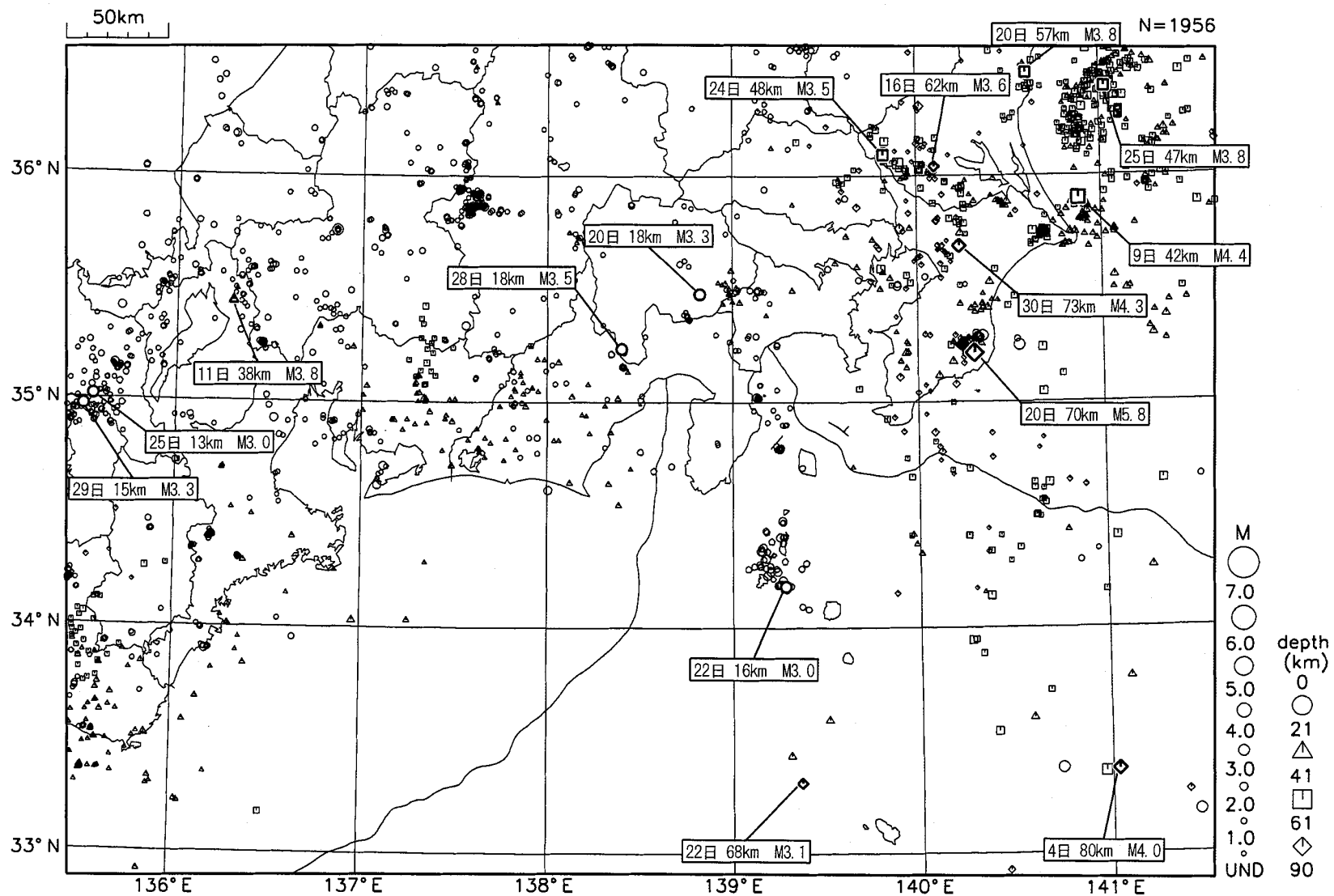
東海・南関東地域の地震活動 2003年8月



第1図-(4) つづき (2003年8月)

Fig.1-(4) continued (August, 2003).

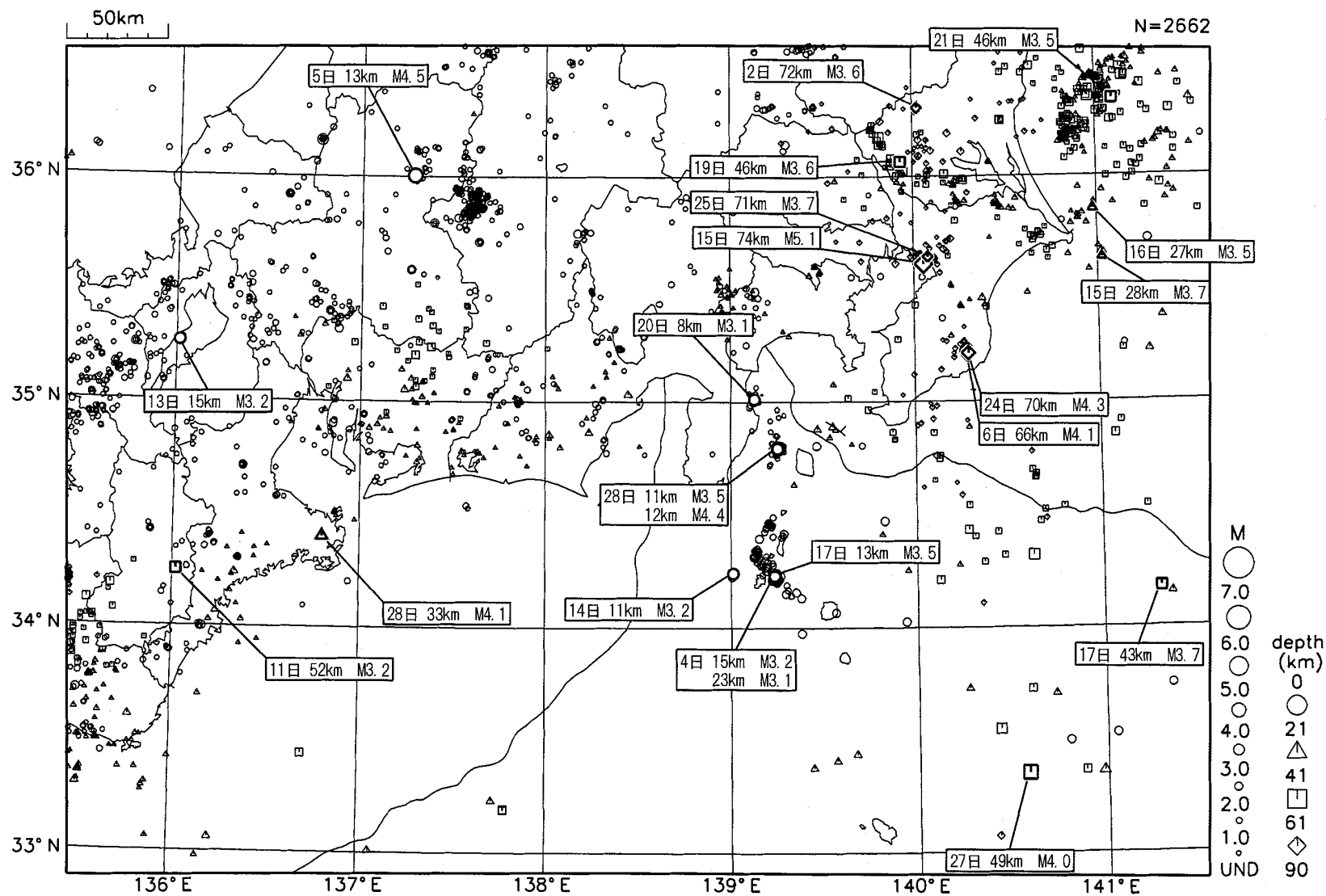
東海・南関東地域の地震活動 2003年9月



第1図-(5) つづき (2003年9月)

Fig.1-(5) continued (September, 2003).

東海・南関東地域の地震活動 2003年10月



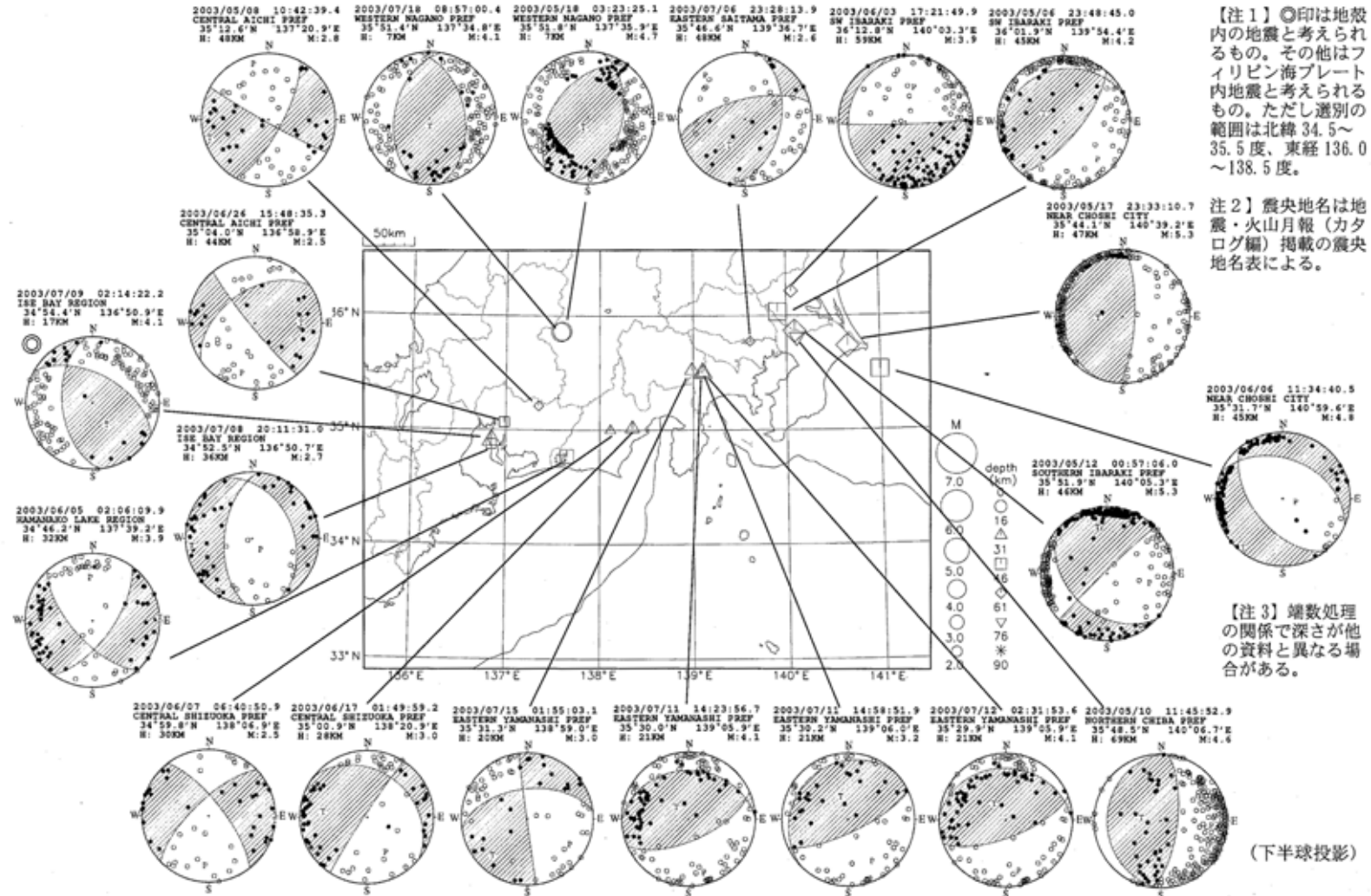
第1図-(6) つづき (2003年10月)

Fig.1-(6) continued (October, 2003).



# 東海・南関東地域の発震機構解

2003年5月1日～7月31日

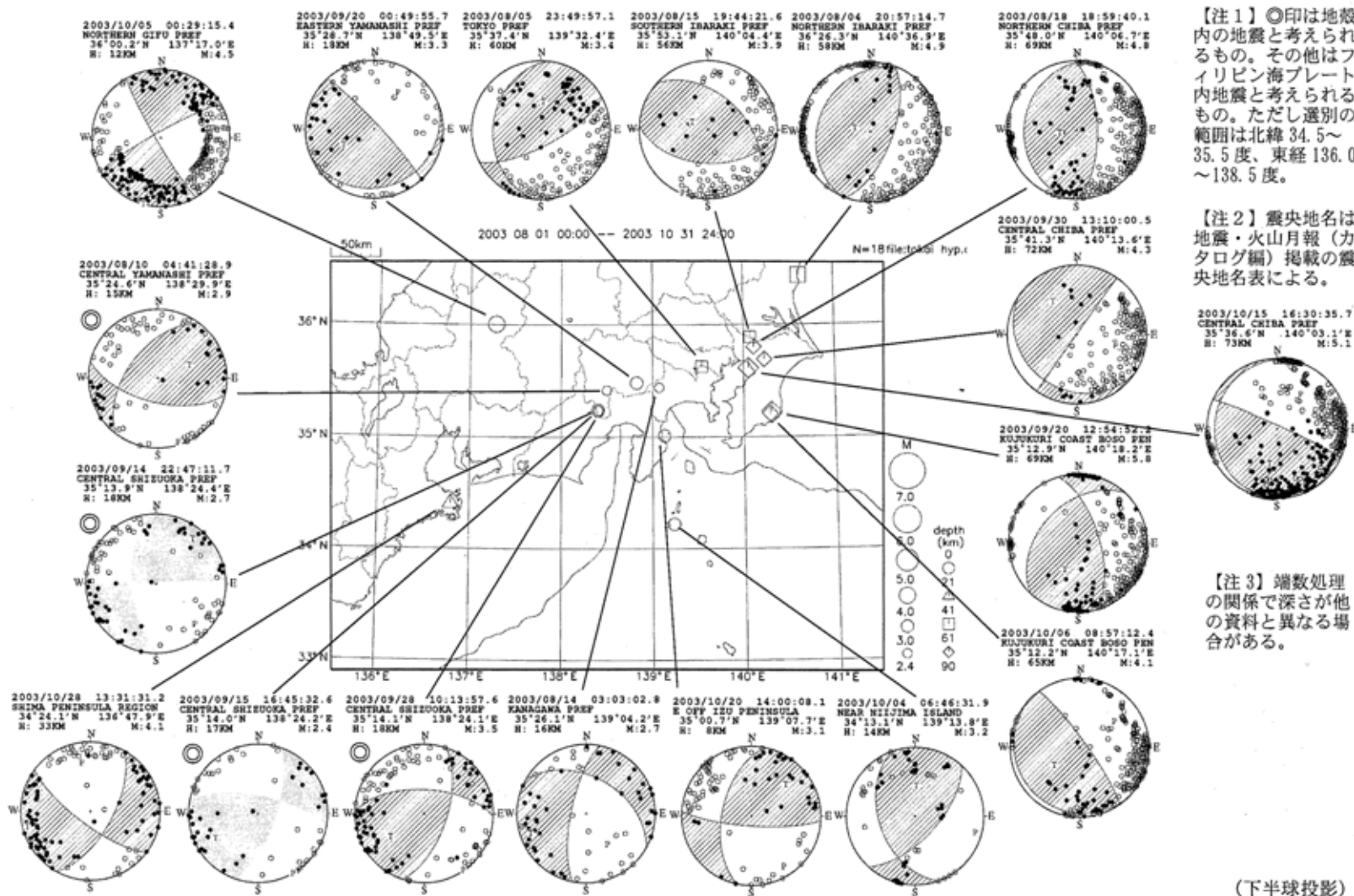


第2図-(1) 東海・南関東地域に発生した主な地震の発震機構解 (2003年5月～2003年10月)

Fig.2-(1) Focal mechanism solutions of major earthquakes in the Tokai and Southern Kanto Districts (May, 2003 - July, 2003).

# 東海・南関東地域の発震機構解

2003年8月1日～10月31日

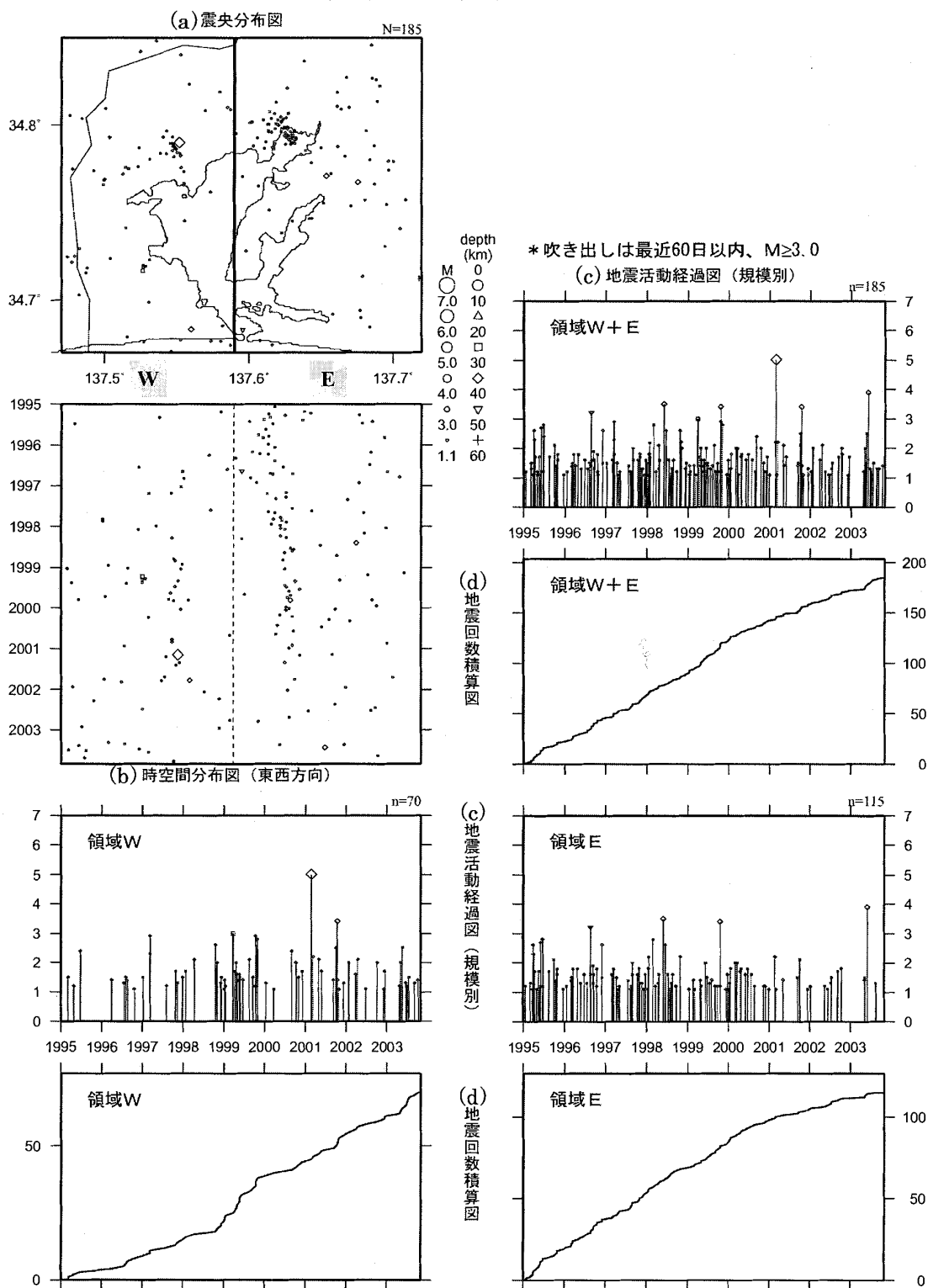


第2図-(2) つづき (2003年8月～2003年10月)

Fig.2-(2) continued (August, 2003 - October, 2003).

### 浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/1/1~2003/10/31 M $\geq$ 1.1 \*クラスタ除去したデータ



第3図 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動（クラスターを除く）

(a)震央分布, (b) 東西方向の時空間分布, (c) 地震回数積算図, (d) M-T 図

Fig.3 Activity of declustered earthquakes in the Philippine Sea slab near the Hamanako region.

(a) epicentral distribution, (b) time-space plots along E-W direction, (c) M-T diagram,

(d) cumulative number of earthquakes.